

魚津市立上野方小学校



「守真の精神」をつないで

本校は、明治6年8月に「大海寺野小学校」として創校し、明治8年の「守真小学校」を始めとして7度もの改称を重ねながら、144年の歴史と伝統を築いてきました。「守真」は、「味道守真」に由来しており、「いろいろの人との関わりや体験を通して、自分の道を見つけ精進する」という意味です。明治維新の激動の時代を生きる当時の地域の人たちの願いがこもった校名でした。現在、職員玄関の前に、魚津市三太郎博士の一人である本校出身の盛永俊太郎博士がしたためた大きな書が掲げられ、「守真の精神」を大切に受け継いでいます。

本校の人との関わりを大切に活動の一つに、縦割り班活動があります。この活動は、平成7年より続いており、現在は、週2回の野菜栽培活動や運動などの常時活動に加え、年1回魚津市の遊戯施設「ミラージュランド」へ約7kmの徒歩遠足を行っています。学年の隔てなく共に遊び、互いを大切にする校風は、長く続いてきたこの活動を通して引き継がれてきたものです。

また、地域の方々と共に取り組んでいる活動として、せりこみ蝶六や石垣刀踊りがあります。中でも、石垣刀踊りは、一時途絶えていましたが、地域有志の熱い思いから復活し、本校児童が学習発表会などで上演するようになりました。地域の方々の熱心な指導を受け、繊細な篠笛と力強い和太鼓、刀を打ち振る勇ましい踊りを習得する中で、地域の伝統を受け継ぐ喜びやふるさとを大切に思う気持ち、地域の一員としての自覚を学んでいます。

本校の歴史は平成29年度末をもって閉じられます。4月からスタートするよつば小学校でも、「守真の精神」を引き継ぎ、人との関わりを大切に、たくましく歩んでくれることを願っています。

魚津市立本江小学校



地域とともに

本校は、下野方小学校と新金屋町及び大町の一部が合併して昭和30年9月1日に創立しました。児童数は699名、全13学級でのスタートでした。ただ、開校したものの施設や教育環境が十分ではなく、グラウンドの整地や池、校庭の樹木等の環境整備は保護者や地域の方々の献身的な努力によって行われました。市内で最初のプール建設にも幾多の課題や難問があり、多くの方々の大変な苦勞があったと聞きます。また、校舎建て替えの時も地域ぐるみの建設運動が展開されました。

そして現在、子供たちは多くの方々苦勞の賜物である恵まれた教育環境の中で、学校や家庭のみならず地域の方々にも見守られ成長してきました。書初め教室や読み聞かせ、蝶六踊り指導、街路樹のリング収穫、本校の4人に1人が参加している公民館のサークル活動、総勢80名の隊員からなる見守り隊等、学校内外の様々な活動を通して子供たちは地域と関わりながら育ってきました。これらは本江小学校の創立当時から流れる「子供たちのため」という想いが、今でも地域に引き継がれているからではないでしょうか。そして、本校の教育の歴史を振り返るとき、忘れてならないことの1つに協同的主体学習があります。「教育技術」にも掲載され学研教育賞、県教育委員会賞、科学技術庁長官賞など数々の受賞に輝きました。地域、保護者、後援会、学校、教育関係諸機関の学校教育に対する情熱が本校の教育の基礎をつくり、よき校風を培ったのだと思わずにはられません。本江小学校の歴史は単に学校の歴史だけではなく地域の方々の歴史でもありました。

本江小学校という1つの歴史は終わりますが、本校のよき伝統を引き継ぎ、子供たちが健やかに育ち、新しい歴史を力強く築いていってくれるものと信じています。